

基本情報

- ◆ 認定年度: 2018(平成30)年
- ◆ 設置時期: 2019(令和元)年9月
- ◆ 実施部局: 医学研究科
- ◆ 相手方機関: カリフォルニア大学サンディエゴ校(米国)
- ◆ 設置タイプ: アウトバウンド型
- ◆ 設置目的: UCSDのトップクラスの研究者とCenter for Novel Therapeutics (CNT) のフロアを共有、共同研究、産学連携、教育連携、グローバル人材育成を加速する。
- ◆ 設置場所: カリフォルニア大学サンディエゴ校(米国・サンディエゴ)
- ◆ 活動内容: 医学分野における国際共同研究を推進する。サンディエゴに存在する様々なアカデミア拠点や産業界との連携強化が期待できる。

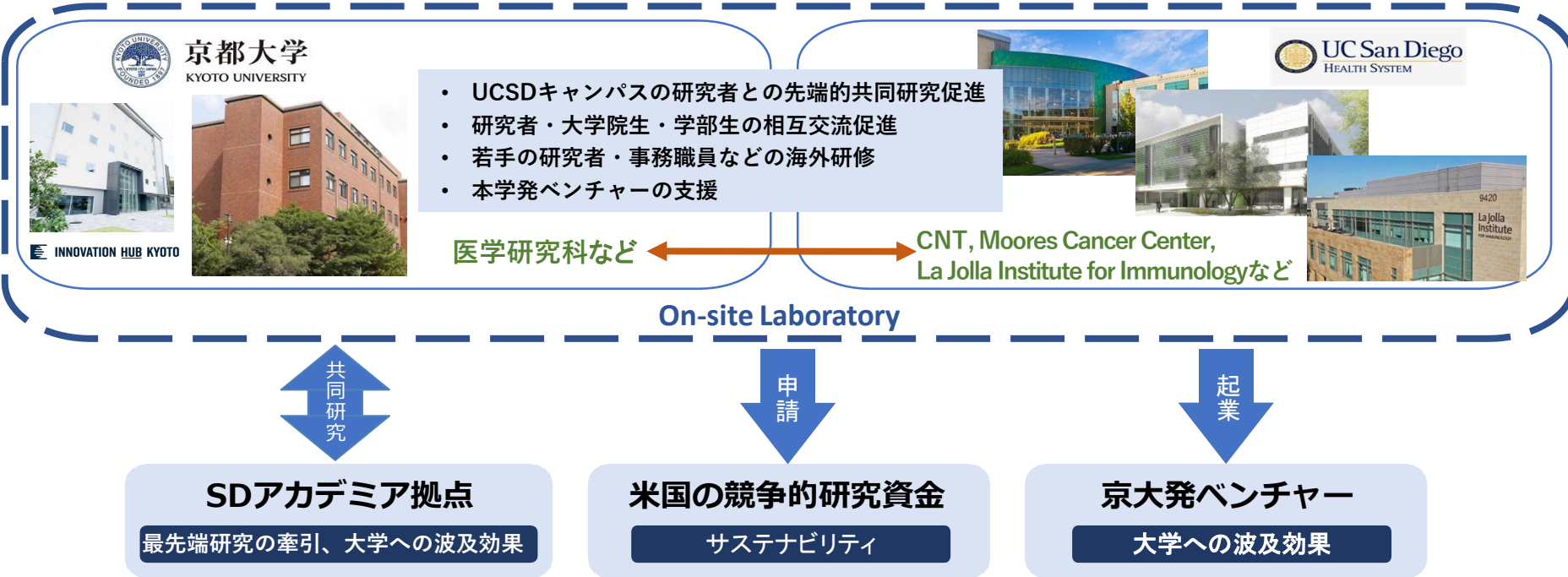
活動による大学全体への波及効果

- 国際共同研究促進
- 優秀な留学生、研究者の獲得
- 学生・職員の留学・国際交流支援
- 京大発ベンチャーの支援

【2026年度】

- KURC-SD が所在するUCSD School of MedicineキャンパスにはMoore's Cancer Center、La Jolla免疫研究所 (LI)など複数の研究機関があり、免疫研究において世界的に著名な研究者が多数在籍する。本環境を生かし、ヒト免疫学を中心とした共同研究プログラムをたちあげ、NIHなどのグラントに共同応募に向けた準備を開始する。最先端研究の牽引、京都大学との連携強化が期待される。
- 本施設が研究環境の整ったオープンスペースとして機能することにより、本学からの入居希望者に簡便かつ低予算でプロジェクトを開始する環境を提供する。

活動概要



2025年度の主な活動実績

① 研究: ヒト免疫学研究に関する米国共同研究基盤の構築

- 実施代表者の上野とラホヤ免疫研究所(LJI)のShane Crotty教授、スタンフォード大学のMark Davis教授が連携して自己炎症性肝疾患の患者から得る組織検体を用いたシングルセル・マルチプラットフォーム解析及び数理解析を共同実施
- 実施代表者の上野とUC San DiegoのDennis Carson教授、林公子研究員により、組織における免疫応答を賦活化するための新規ワクチンモダリティの開発を共同実施。2025年度はCarson教授の開発したアジュバントを上野研究室の秋吉特任教授が独自のナノゲルに結合して新規ワクチンの原型を作成。

② 教育: cSIMVa・KIC・LJI・UCSD 4機関合同国際シンポジウム2025開催(2025年6月4~6日)

- ヒト免疫学研究に関する米国共同研究基盤の構築のため、米国カリフォルニア州サンディエゴのラホヤ免疫研究所(LJI)において、千葉大学未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点(cSIMVa)と、京都大学免疫モニタリングセンター(KIC)、ラホヤ免疫研究所(LJI)およびカリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)による4機関合同国際シンポジウムを開催
- 4機関に所属する、学生28名を含む免疫学研究者128名が参加(うち本学:教員7名、大学院生5名)
- 6月4~5日:ハーバード大学Vijay Kumar Kuchroo博士によるプレナリーレクチャーを含む口頭33演題、ポスター27演題の発表
- 6月6日:「ブレインストーミングセッション」として日米大学院生を含む研究者が、免疫学に関する4テーマに分かれてディスカッション

